

登別駅前広場の整備

■ 現状と課題

登別駅は毎年、国内外から年間300万人以上の観光客が訪れる登別温泉の玄関口となっており、登別駅前地域においては訪れる観光客と迎える住民との交流の場として、コミュニティセンターの設置を検討するなど、観光振興と地域活性化の取り組みが進められているところでもあります。

しかし、駅前広場は駐車場が狭く、駅を利用する歩行者、自転車、自家用車、バス、タクシーなどの交通が輻輳し、交通結節点としての機能が低下しております。

これらのことから、登別温泉の玄関口として交通結節点機能の向上が必要であります。

【登別駅前交通広場 3,400㎡ 昭和47年10月21日都市計画決定】

■ 要望内容

●交通結節点機能の向上を図り、登別温泉の玄関口としてふさわしい登別駅前広場の整備。



■ 事業効果

- 登別温泉等へのアクセスの向上
- 観光振興の強化
- 地域活性化
- 歩行者、自転車、自家用車、バス、タクシーなどの交通の安全確保と利便性の向上